

News Release

報道関係者各位
2019年12月18日

マニユライフ生命、 台風 19 号の被害を受けた福島県の星総合病院へ義援金 400 万円を寄付

- 療養中の子どもたちのためのプレイルーム再整備などへ支援

「令和元年台風第 19 号」によりお亡くなりになられた方とご遺族に謹んでお悔み申し上げますとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO: 吉住公一郎、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、「令和元年台風第 19 号」で大きな被害を受けた公益財団法人星総合病院(福島県郡山市、以下、「星総合病院」)に 400 万円の寄付を決定しました。マニユライフ生命は、社会貢献活動の一環として、2013 年に、星総合病院に療養中の子どもたちのためのプレイルームを設置しています。

マニユライフ生命では、小児医療施設で療養中の子どもたちのためのプレイルームを設置するプロジェクトを 2007 年より行っており、2013 年 1 月には、全国で 8 カ所目、東北では初となる、「マニユライフわくわくの一む」が星総合病院内に完成しました。このたびの台風 19 号により、星総合病院では、「マニユライフわくわくの一む」の外来プレイコーナーがある 1 階が床上浸水となるなど、病院全体で甚大な被害を受けました。マニユライフ生命では、療養中の子どもたちの環境を一日も早く再整備するお手伝いをしたいとの思いから、今回、義援金の寄付を決定しました。

2019 年 10 月にマニユライフ生命社内および子会社において星総合病院への義援金を募り、役職員有志から 196 万 3,440 円が集まりました。その金額にマニユライフ生命が同額程度をマッチングして上乘せし、合計 400 万円を星総合病院へ寄付いたします。

マニユライフ生命は、今後も、微力ながら復旧支援に向けて尽力してまいります。被災された地域の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



←12 月 10 日義援金寄付のため星総合病院を訪れたマニユライフ生命の郡山支社長 立原幸卓(左)と、同病院の病院長補佐兼小児科部長 佐久間弘子先生

↓12 月 10 日マニユライフ生命の訪問参加者および病院関係者の皆さま



参考

■星総合病院「マニユライフわくわくるーむ」概要(2013年1月開設)

星総合病院は、2011年の東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、その後改修を経て同年6月に外来・入院ともに診療機能を再開しました。震災直後には以前から計画していた新病院建設に着手し、2013年1月に新病院が開院しました。同じタイミングで開設したプレイルーム『マニユライフわくわくるーむ』は、同病院から車で約30分のところにある布引高原をイメージした平和な近未来の空想都市「宙(そら)まち」をテーマに、福島の子どもの未来と想像力を刺激する温かみのある療養環境となるよう作られました。



■「マニユライフわくわくるーむ」設置実績(2019年12月現在)

	施設名(所在地、選考年)	概要(完成年)
1	豊田厚生病院(愛知県、2007年)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
2	近畿大学医学部附属病院(大阪府、2007年)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府、2008年)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県、2008年)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道、2009年)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府、2009年)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県、2010年)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県、2011年)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都、2012年)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県、2012年)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県、2013年)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府、2014年)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県、2015年)	わくわくるーむ初となる屋外スペースを含むプレイルーム(2017年)
14	国立国際医療研究センター(東京都、2016年)	既存の楕円形プレイルームを生かした、ユニークなプレイルーム(2017年)
15	大阪急性期・総合医療センター(大阪府、2017年)	「癒しの森」をテーマに、幅広い年齢の子どもたちがさまざまな遊びを楽しむことができるプレイルーム(2018年)
16	島根大学医学部附属病院(島根県、2018年)	AYAルームなど、多様な子どもたちに対応する総合的機能を備えた過去最大スペースのプレイルーム(2019年)

公益財団法人星総合病院について

星総合病院は、診療科 32 科、一般病床 430 床を有する地域の中核病院です。急性期疾患に対応する最新の設備を備え、プライマリケアから専門治療まで幅広く対応しております。平成 8 年に県内初の開放型病院の認定を受け、平成 19 年には地域医療支援病院に承認されるなど地域の医療機関との連携を積極的に推進しています。平成 25 年 1 月には、念願の新病院が開院。救急専用ベッドを完備しヘリポートを設置するなど救急医療の充実を目指します。また県中・県南地区で2施設目となる緩和ケア病棟を新設。さらに予防も含めた総合リハビリテーション体制を目指し、プールやフリースペースを備えた健康増進施設を併設するなど、多様化するニーズに対応した新たなサービスを提供しております。地域密着・親しみやすさ・開かれた病院等を象徴する当法人の伝統的思想「おらが病院」を基本コンセプトに、地域から愛され信頼される病院を目指しています。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業で、2019 年、設立 20 周年を迎えました。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の 3 つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。詳細はホームページ(www.manulife.co.jp)をご覧ください。自分らしい、これからの生き方「Life 2.0」を応援するウェブサイト「Life 2.0 ガイド」(<https://life2.0guide.jp/>)や各種公式 SNS ページ: [Facebook](#)、Twitter ([@ManulifeJapan](#))、Instagram ([@manulifejapan](#)) で情報発信しています。

